

(公財) 宝塚市文化財団

第12回宝塚学検定

検定試験の結果概要

公益財団法人 宝塚市文化財団は、2021年3月20日（土・祝）に宝塚ソリオホールにおいて、第12回宝塚学検定を実施しました。当検定は、宝塚の自然・風土・歴史・文化などに関する100問の設問に対し、4択方式で解答。1問1点で、初級・中級は100問中70問以上、上級は80問以上、博士は85問以上の正解を合格とします。

2020年に実施を計画していた第11回宝塚学検定は、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止となりました。

第12回宝塚学検定においては、受検者の座席間隔を確保するため午前・午後の2部制で実施しました。受検申込者は183人（午前108人・午後75人）で、検定当日の受検者は174人（午前104人・午後70人）、全体の参加率は95%でした。受検申込者183人のうち、宝塚市在住者は123人で全体の67%でした。近隣では西宮市・神戸市・三田市・伊丹市・尼崎市・猪名川町・川西市・明石市・加古川市のほか、県外では大阪府が最多で、首都圏は東京都・神奈川県、西は広島県・福岡県まで幅広い地域から参加がありました。また、最高齢受検申込者は86歳、最年少受検申込者は14歳（中学2年生）で、中学生の参加は1人でした。

採点の結果、初級受検者46人のうち38人が合格（合格率85%）。中級受検者27人のうち27人全員が合格（合格率100%）。上級受検者24人のうち22人が合格（合格率91%）。博士受検者77人のうち73人が合格（合格率95%）となりました。第12回検定ではセミナー参加者への加点制度を採用しており、初級3人、上級3人、博士11人が、加点により合格認定されました。初級・中級・上級・博士合わせて、第12回検定の平均合格率は92%でした。なお、惜しくも合格点に届かなかった博士受検者3人は80点以上取得のため上級合格、同じく博士受検者1人と上級受検者1人は70点以上取得のため中級合格の認定をします。

最高得点は初級合格者が94点、中級合格者が97点、上級合格者が99点、博士合格者が100点でした。なお、平均点については午前の部が85点、午後の部が84点で、平均合格率は午前の部が91%、午後の部が93%となりました。

第12回検定の初級合格者38人は中級に、中級合格者27人は上級に、上級合格者22人は博士にチャレンジすることができます。また、博士合格者73人も、今後継続して検定を受検いただくことができます。

第12回検定では前回に引き続き「ファミリー部門」と「一般部門」で【もの知りチーム決定戦】を実施しました。「ファミリー部門」では、12歳から15歳の中学生以下と高校生以上の家族チーム1組が受検、「一般部門」では6チームがエントリーし、「宝塚モラロジー事務所」チームが優勝しました。

試験結果については、受検申込者全員に検定結果通知を発送するとともに、合格者に「認定証」「ピンバッジ」を送付します。

■試験結果の概要

一般受検者		申込数	受検者数	合格者数	合格率	平均点	最高得点
第1回	全体	190人	179人	172人	96%	88点	100点
第2回	全体	170人	163人	140人	86%	83点	100点
第3回	全体	169人	164人	142人	87%	81点	99点
第4回	全体	190人	183人	142人	78%	79点	98点
第5回	全体	272人	263人	173人	77%	74点	99点
第6回	全体	235人	216人	156人	86%	78点	100点
第7回	全体	249人	239人	193人	81%	81点	100点
	内訳	博士	38人	36人	97%	93点	100点
		上級	37人	35人	94%	89点	100点
		中級	28人	26人	88%	81点	98点
		初級	146人	142人	72%	76点	98点
第8回	全体	266人	249人	218人	88%	84点	100点
	内訳	博士	63人	61人	97%	92点	100点
		上級	23人	23人	91%	86点	97点
		中級	57人	54人	100%	88点	98点
		初級	123人	111人	76%	77点	97点
第9回	全体	268人	257人	223人	87%	83点	99点
	内訳	博士	65人	65人	98%	90点	99点
		上級	51人	48人	96%	89点	99点
		中級	40人	38人	100%	85点	98点
		初級	112人	106人	71%	75点	96点
第10回	全体	271人	263人	230人	87%	83点	100点
	内訳	博士	89人	88人	95%	91点	100点
		上級	36人	35人	94%	86点	96点
		中級	46人	45人	96%	84点	98点
		初級	100人	95人	74%	75点	95点
第12回	全体	183人	174人	160人	92%	84点	100点
	内訳	博士	81人	77人	95%	89点	100点
		上級	26人	24人	92%	85点	99点
		中級	27人	27人	100%	83点	97点
		初級	49人	46人	83%	77点	94点
	午前の部	108人	104人	95人	91%	85点	100点
	午後の部	75人	70人	65人	93%	84点	99点

※平均点と最高得点には、加点分は含まれておりません。

もの知りチーム決定戦結果

【ファミリーデ部分】1組参加 得点…178点

【一般部門】参加チーム 6 チーム

チームの得点

順位 上位 3 人の合計点 (チーム全員の平均点) / チーム名 (メンバー数)

1 位 278 点 (83.8) / 宝塚モラロジー事務所 (8 人)

2 位 267 点 (86.8) / 宝のまち (4 人)

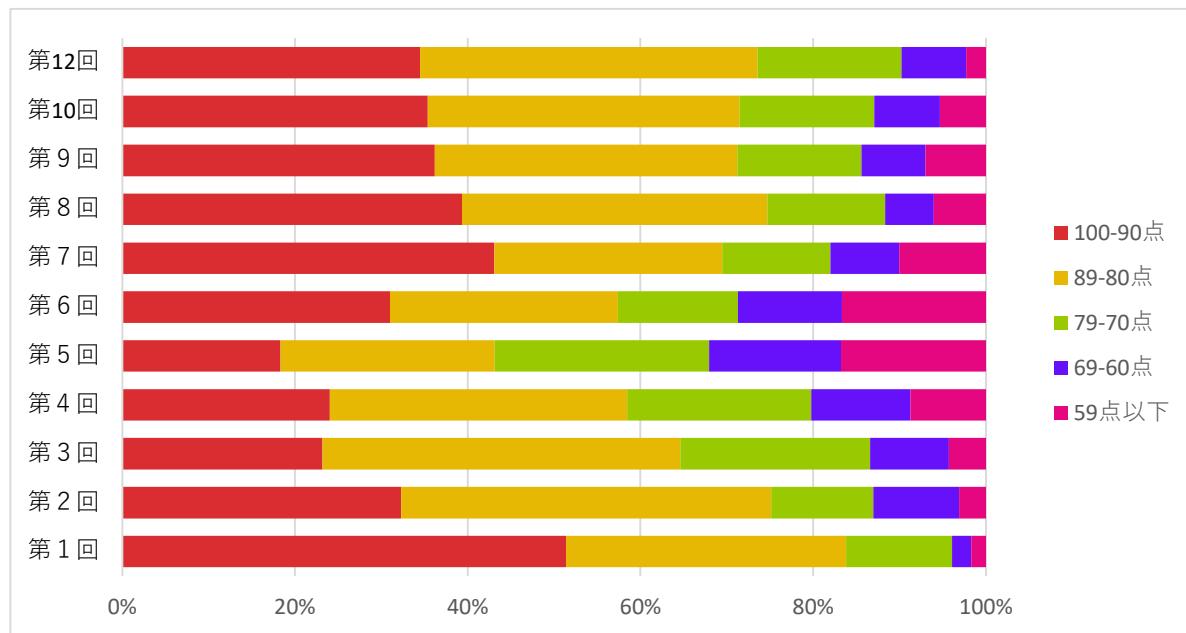
3 位 255 点 (78.3) / 自助・共助・公助 (6 人)

※もの知りチーム決定戦の結果には、小学生 20 点、中学生 10 点の加点が含まれています。

■得点分布

第12回宝塚学検定の平均点は午前の部が85点、午後の部が84点でした。得点分布（午前の部・午後の部合算）は以下の表の通りです。得点最多層は89-80点で68人。80点以上の得点者は合計128人で、全体の75%を占めました。

得点分布グラフ



■試験問題の概要

試験問題は、「自然」「歴史」「まち」「文化」「市」の5分野について、下表の通り出題しました。午前の部の問題の87問が公式テキストからの出題で、残り13問はテキスト外からの出題でした。テキスト外からの問題13問のうち、4問が写真および図を見て答える設問でした。午後の部の問題の85問が公式テキストからの出題で、残り15問はテキスト外からの出題でした。テキスト外からの問題15問のうち、4問が写真および図を見て答える設問でした。

分野	事柄	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第12回
自然	山、川、動植物など	16問	19問	20問	19問	14問	17問
歴史	歴史的な出来事、由来など	21問	22問	21問	21問	26問	25問
まち	産業、交通、イベント、行事など	22問	24問	24問	19問	24問	20問
文化	音楽、映画、歌劇、文学など	30問	25問	23問	30問	29問	23問
市	宝塚市の規模、姉妹都市など	11問	10問	12問	11問	7問	10問

■試験問題の難易度（午前の部）

解答の正答率からみると、設問の約7割以上が正答率75%以上（やさしかった問題）で、正答率59%以下（難しかった問題）は、5問でした。

正答率	90%以上	89-80%	79-70%	69-60%	59-50%	49%以下
設問数	45問	23問	21問	6問	4問	1問

■高正答率問題と低正答率問題

	問 題	正答率
やさしかった問題	[2] □松江市は、宝塚市の観光姉妹都市である。 Ⓐ島根県 Ⓑ山口県 Ⓒ鳥取県 Ⓓ岡山県	100%
	[25] 宝塚市のシンボル生物となっている鳥類は2種類ある。ウグイスと□である。 Ⓐキビタキ Ⓑセグロセキレイ Ⓒヒバリ Ⓓツバメ	100%
	[42] 山本の園芸の始祖とされる「木接太夫」は、戦国時代この地に住んでいた□の 称号である。 Ⓐ福島正則 Ⓑ脇坂安治 Ⓒ大谷吉継 Ⓓ坂上頼泰	100%
* このほか、設問【61】が正答率100%でした。また、正答率99%の設問が8問ありました。		
難しかった問題	[22] 江戸時代、宝塚市域ではさまざまな道が発達した。伊丹から宝塚の口谷を経由して 北へ向かい、丹波篠山に至る丹波道は、別名□道とも呼ばれた。 Ⓐ西宮 Ⓑ多田 Ⓒ有馬 Ⓓ三田	54%
	* この問題は、新版公式テキスト（P74）の記述をもとに作成・出題されました。	
	[69] 2020（令和2）年は、箕面有馬電気軌道（現・阪急電鉄）開業110年、阪急 電鉄神戸線と伊丹線の開業□年の節目にあたる。 Ⓐ40 Ⓑ60 Ⓒ80 Ⓓ100	53%
* この問題は、新版公式テキスト（P41）の記述をもとに作成・出題されました。		
	[29] 大正時代、宝塚には春夏秋冬の観光テーマがあった。春は宝梅園や米谷梅林の観梅、 初夏は山本のボタン、イチゴ狩り、□、夏は武庫川の納涼と蛍狩り、秋は松茸狩り、 冬は雪景色が観光客を誘った。 Ⓐしじみ採り Ⓑ川下り Ⓒ鮎釣り Ⓓダリア摘み	48%
	* この問題は、新版公式テキスト（P33）から出題されました。	

■試験問題の難易度（午後の部）

解答の正答率からみると、設問の約7割以上が正答率75%以上（やさしかった問題）で、正答率59%以下（難しかった問題）は、8問でした。

正答率	90%以上	89-80%	79-70%	69-60%	59-50%	49%以下
設問数	55問	17問	9問	6問	9問	4問

■高正答率問題と低正答率問題

	問 題	正答率
やさしかった問題	[50] 2019（令和元）年11月15日に、宝来橋のたもとに「天然たんさん水 この下あり」の碑が復元・設置された。除幕式には、宝塚で炭酸水の瓶詰め事業を始めた□・タンサンの創業者の曾孫がイギリスから来宝された。 Ⓐジョンソン Ⓑワトソン Ⓒウィルキンソン Ⓓダイソン	100%
	[60] 宝塚北部、西谷の佐曾利地区は、□球根の生産で日本一の出荷量を誇る。 Ⓐアネモネ Ⓑクロッカス Ⓒダリア Ⓓカンナ	100%
	[85] 宝塚市と神戸市北区にまたがる丸山湿原群は、県内最大の湧水湿原で、暖温帯に属するが、ここでは熱帯系の□と冷温帯系のヒメタイコウチが共存している。 Ⓐヒメイトンボ Ⓑハッショウトンボ Ⓒモリトンボ Ⓓカラスヤンマ	99%
	*このほか、設問【33】【54】【95】が正答率99%でした。	
難しかった問題	[58] 武田尾温泉は、名塩村の武田尾直蔵が□時代に泉源を発見したと言い伝えられている。 Ⓐ鎌倉 Ⓑ室町 Ⓒ江戸 Ⓓ明治 *この問題は、新版公式テキスト（P39-40）の記述をもとに作成・出題されました。	46%
	[47] 画家の元永定正は、1954（昭和29）年に芦屋で結成された□美術協会に参加。鮮やかな色彩とユーモラスな作風を確立し、世界的に評価されている。2012（平成24）年に作品60点が宝塚市に寄贈された。 Ⓐ具体 Ⓑ実験 Ⓒ前進 Ⓓ理想 *この問題は、新版公式テキスト（P144）の記述をもとに作成・出題されました。	40%
	[43] 宝塚市の生物多様性シンボルキャラクター「ツメレット」は、多年草のツメレンゲをモチーフにしている。宝塚市内のツメレンゲの自生地は次のどこか。 Ⓐ武田尾渓谷 Ⓑ松尾湿原 Ⓒ安倉上池 Ⓓ新池公園 *この問題は、新版公式テキスト（P116）の記述をもとに作成・出題されました。 *全解答の約57%が「Ⓑ松尾湿原」と解答していました。	36%